

株式会社ホテルニューアカオ

所在地:熱海市 創業:昭和45年 資本金:5千万円 従業員数:320人(男性193名、女性127名) 平均年齢(正社員)38.6歳 業種:宿泊業

◆全館休館日の設定や客室係の業務見直しなどの逆転の発想により働きやすい環境を整備

・これまで売り上げの関係から全館休館という発想はなかったが、大型連休後の閑散日を全館休館日とし、公休日とするとともに、拘束時間が長かった客室係の清掃業務を見直すことにより2時間の短縮を図り、社員の満足度がアップ。

（きっかけ）
取り組み前

人手不足解消のために

- ✓ 業界の特性により、中抜けの休憩時間が長く拘束時間が長かった。
- ✓ 採用活動が思うようにいかない。
- ✓ 女性が、結婚や妊娠を機に退職してしまう。
- ✓ 長く勤めてもらうために、社員の働く環境整備に力を入れることにした。

取り組み後（効果）

拘束時間を削減、公休日の増加

- ✓ 客室係はこれまで8:00～20:00(休憩3h)だったが、平成30年4月から基本10:00～20:00(休憩1h)と、8:00～20:00(休憩3h)のシフト制に変更。社員にも好評。
- ✓ それまでは年間休日93日だったが、平成30年の年間休日は95日に、平成31年は105日に増加。120日を目指している。

女性の継続就業

- ✓ 労務環境の整備にも取り組み、併せて改めて制度の周知を行ったことにより、初めての育休取得者が2人出る予定。
- ✓ (進行形の取組)女性が活躍できるように制度の見直しを進めている。プロジェクトを起ち上げて、こういった環境であれば就業継続が可能かヒアリング中。

取り組み内容や仕組み

拘束時間の削減

- ✓ 調理人や客室係の業務内容を整理し、仕込みや盛り付けをパートに任せる、清掃会社との契約を見直し、客室係と清掃会社で分業されていた業務をそれぞれが行うことにより、社員の拘束時間を削減。
- ✓ 調理人の拘束時間削減のため、朝だけ担当の調理人(定年後の高齢者を想定)を雇用して分担できないか募集中。

公休日の増加等

- ✓ 公休日増加のため大型連休後の閑散期に全館休館日を設けることに。平成30年は3日間、31年は10日間の予定。
- ✓ 平成29年から有給休暇の5日取得の義務付け、30年からは更に週4日以上連休の取得を義務付け。

業務の効率化のため、社員のスキルアップ

- ✓ 平成29年から、入社4年目までの人材開発プログラムを作成して実施。
- ✓ 平成29年から、資格取得補助、視察研修の補助、語学留学補助の制度を導入。語学留学は、最長1年間休職・復帰可能。